

柔道しずおか

令和4年3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田5-1-1 公益財団法人 静岡県体育協会内 静岡県柔道協会事務局
TEL 090-1832-9084 FAX 055-988-3611
メール shizuokajudo5803@yahoo.co.jp

【巻頭言】

柔道指導を通して思うこと

静岡県柔道協会副会長 八段 田中秀幸



このたび県柔道協会常任理事会より、「柔道しずおか」の巻頭言を執筆していただきたいとの申し出がありました。巻頭言には既に三、四年前に書いていたので他の人にお願いできないか。良い機会だから各種委員会委員長にも機会を与えて欲しいと話しましたが、長年に渡って関わって来た柔道に対するその思いを後進に伝えていただきたいとのことで執筆することになった次第です。

横浜の生まれ育ちの私が、柔道を習い始めたのは中学一年生の時でした。小学生の頃、「いがり君」や「姿三四郎」などが漫画、映画で人気を集めていたこともあり、中学生になった

ら柔道部へ入ろうと思っていきました。父の勧めで私学の逗子開成学園へ進むこととなりましたが、これが私の人生の一つ目の転機でした。中学校と高等学校の男子校で、当時は運動部活動が盛んな学校でした。早速柔道部へ入部し、そして高校へ進み、一年生、二年生と稽古の他に近くの逗子の浜を仲間と走ったり、海を見下ろす山へ登ったりして基礎体力トレーニングも続けました。

そして三年生の七月、迎えた全国高校総体神奈川県予選ですが、団体戦の前日に私は個人戦の重量級に出場し、優勝して全国へ行くことになりました。これでチームに勢いが付き、団体戦でも決勝戦にて勝ち、全国大会（新潟市）へ行くこととなりました。

昭和四十二年に静岡大学へ着任することとなりました。これが私の人生の三つ目の転機でした。本来なら神奈川県教員になる予定でしたが、タイミングよく静岡大学の柔道の先生が退職することに着任出来ました。以来、授業、研究、学内委員、社会体育の四本柱を目標に立て、定年退職まで実行してまいりました。

この間、部活動に係る時間は大きなものがありました。日常の勤務で疲れていても、道場に立つと不思議と体に元気が湧いてきました。やはり柔道が好きだったのでしょう。二百名を越える部員を社会へ送り出したと思いますが、立派に元気に社会人として活躍している姿を見ると教師になって良かったと思えます。また、彼らと接する機会には、その時代へ逆戻りしてしまい、時の経つのを忘れます。「柔道を通しての人間教育」を指導モットーとしてきた私ですが、大変幸せな時間です。

しかし、この柔道に係る時間は莫大であり、土・日曜日に家を留守にしました。日常生活の中で家族らに忙しい、また寂しい思いをさせたことは申し訳なく思っています。今の時代ならとてもこのような行動は通用いたしません。

協会では強化委員会会計、そして審判委員会、広報普及委員会、表彰委員会などの委員長を務め、指導現場で、また会議の場で役員の皆様と考えを述べ合い、より良い柔道協会にすべく関わってまいりました。時代と共に変わるものもありますが、変えてはならないものもあります。その見極めが重要ではないかなと思っています。他の意見に協調する場合もありますが、主張すべき場合は筋を通して説明する。これが大切ではないかなと思っています。

新型コロナウイルス、少子高齢化、全体統一と個性尊重、考え方の多様化など、種々の課題が山積している昨今ですが、私たちは柔道大好き人間の集まりです。嘉納治五郎師範の提唱する理念である「精力善用 自他共栄」の精神で、一步一步前へ進めて行って欲しいと思っています。

各種大会の報告

令和2年全日本柔道選手権大会

令和2年12月26日 講道館 佐藤和哉(日本製鐵) ベスト16

全日本選手権大会東海予選

令和3年3月7日 大垣市武道館

- 男子 小林悠輔 1位 大橋昂文 予選リーグ敗退 ●女子 橋本夏海 予選リーグ敗退 金杉一葉 予選リーグ敗退

2021年全日本選抜柔道体重別選手権大会

令和3年4月3日、4日 福岡国際センター

- 男子 100kg超級 佐藤和哉(新日鐵住金) 1位 ●女子 57kg級 袴田佳名瑚(桐蔭横浜大) 棄権

令和3年第21回東海柔道形競技大会

令和3年5月3日 大垣市武道館

- 固の形 森田賢一・猪又 功3位 ●極の形 長橋正宏・舛田健司2位 ●柔の形 佐野宏明・岡村和幸4位 ●講道館護身術 鈴木清仁・曾根由多1位 ●五の形 小笠原淳・小林賢治2位

第18回静岡県小学生学年別柔道大会

令和3年5月9日 静岡市北部体育館

- 男子5年45kg級 1位 富田 蓮(柔好会) 2位 山本翔煌(柔好会) 3位 服部周真(育誠館) ●男子5年45kg超級 1位 清水 楽(湖西おそなが道場) 2位 横野慶多(清水柔道ク) 3位 野澤倫太郎(小山町柔道連盟) ●男子6年45kg級 1位 池田英慎(柔好会) 2位 浅井嘉忠(育誠館) 3位 平野瑛大(藤枝柔ク) ●男子6年65kg級 1位 神田琉空(葦山柔道教室) 2位 米山大貴(藤枝柔ク) 3位 金子 翔(和道場) 村井来新渡(高山柔道塾)

- 男子6年65kg超級 1位 星谷愛彪(大仁柔道会) 2位 大畑慎之助(藤枝柔ク) 3位 福島伊織(袋井スポ協柔道部) ●女子5年40kg級 1位 伊東柚葉(葦山柔道教室) 2位 倉田くるみ(育誠館) 3位 眞島百杏(小山町柔道連盟) ●女子5年40kg超級 1位 大城星夢(浜北柔道スポ少) 2位 白井悠心(湖西おそなが道場) 3位 白田遥香(服織道場) ●女子6年40kg級 1位 福尾理円(袋井スポ協柔道部) 2位 芹澤来愛(沼津柔道会) 3位 酒井優杏(服織道場) ●女子6年55kg級 1位 永田幸愛(小山町柔道連盟) 2位 新村咲笑(和道場) 3位 飯塚 優(大井川スポ少) ●女子6年55kg超級 1位 澤口風花(藤枝柔ク) 2位 神田莉緒(葦山柔道教室) 3位 杉山凜璃(清流館) 村越 凜(浜岡潮柔道スポ少)

東海高校総体

令和3年6月19日、20日 名張市武道交流館いきいき 男子団体

- 静岡学園 1位 加藤学園 2位 ●女子団体 東海大翔洋 3位 ●男子個人戦 81kg級 長澤篤希(静岡学園) 1位 ●女子個人戦 48kg級 百田久奈(藤枝順心) 2位 63kg級 柿澤夏美(藤枝順心) 1位 78kg級 杉田菜奈(藤枝順心) 2位

全日本ジュニア柔道選手権大会東海地区予選

令和3年7月11日 大垣市武道館

- 男子 81kg級 長澤篤希(静岡学園) 1位 90kg級 渡邊爽偉(加藤学園) 2位 ●女子 57kg級 杉山月琉(東海大翔洋) 1位 63kg級 柿澤夏美(藤枝順心) 2位 70kg級 渡辺麻唯乃(東海大翔洋) 2位

令和3年度第43回東海中学校総合体育大会柔道競技

- 令和3年8月6日、7日 日本ガイシスポーツプラザ(愛知県) ●男子団体 東海大翔洋 3位 静岡学園 3位 ●女子団体 東海大翔洋 3位 ●男子個人戦 55kg級 長屋 進(神久呂) 1位 66kg級 狩野央輔(静岡学園) 2位 73kg級 岡本篤弥(賤機) 2位 森本総司(東海大翔洋) 1位 81kg級 川合 遼(静岡学園) 1位 90kg級 石井克明(静岡学園) 1位 城本憲生(東海大翔洋) 2位 ●女子個人戦 40kg級 日吉七美(沼津市立) 1位 44kg級 今井葵彩(沼津市立) 1位 48kg級 渡部華奈(静岡学園) 2位 57kg級 三木にこ(浜松西) 2位 63kg級 笠間芽伊(竜洋) 2位 78kg超級 中道咲桜(東海大翔洋) 1位

全国高校総体

令和3年8月8日～12日

長野市真島総合スポーツアリーナ

●男子団体

加藤学園 2回戦敗退

●男子個人戦

60kg級 国本星弥(加藤学園) 2回戦敗退

66kg級 岡本治析(加藤学園) 3回戦敗退

73kg級 村上大心(静岡学園) 1回戦敗退

81kg級 長澤篤希(静岡学園) 2回戦敗退

90kg級 木田敦也(静岡学園) 3回戦敗退

100kg級 野村晟也(加藤学園) 1回戦敗退

100kg超級 竹田大和(加藤学園) 3回戦敗退

●女子団体

東海大翔洋 ベスト8

●女子個人戦

48kg級 百田久奈(藤枝順心) 2回戦敗退

52kg級 川上みのる(藤枝順心)

57kg級 杉山月琉(東海大翔洋) 2回戦敗退

63kg級 柿澤夏美(藤枝順心) 1回戦敗退

70kg級 渡辺麻唯乃(東海大翔洋) 3回戦敗退

78kg級 杉田菜奈(東海大翔洋) ベスト8

78kg超級 石川 蒼(藤枝順心) 2回戦敗退

令和3年8月22日～25日

ALSOKぐんまアリーナ

●男子団体

東海大翔洋 ベスト16

●女子団体

東海大翔洋 3位

●男子個人戦

50kg級 高岡颯斗(静岡学園) 1回戦敗退

55kg級 長屋 進(神久呂) 3位

60kg級 鈴鹿未来(浜北北部) 2回戦敗退

66kg級 新村彪太(浜北北部)

73kg級 森本総司(東海大翔洋) 2回戦敗退

81kg級 川合 遼(静岡学園) 2位

90kg級 石井克明(静岡学園) ベスト8

90kg超級 西村 蓮(東海大翔洋) 1回戦敗退

●女子個人戦

40kg級 日吉七美(市立沼津) 2回戦敗退

44kg級 今井葵彩(市立沼津) 2回戦敗退

48kg級 渡部華奈(静岡学園) 3回戦敗退

52kg級 吉田旺布(聖隷) 3回戦敗退

57kg級 鈴木結虹(北浜東部) 3回戦敗退

63kg級 永田りん子(東海大翔洋) 3位

70kg級 齊藤希娃(東海大翔洋) 3回戦敗退

70kg超級 中道咲桜(東海大翔洋) 3回戦敗退

2021年度全日本学生柔道体重別選手権大会

令和3年11月25日、26日

千葉ポートアリーナ

●男子

60kg級 山本蒼良(国際武道大) 3位

90kg級 渡邊稜都(国際武道大) 1回戦敗退

100kg級 米山竜生(東海大) 3回戦敗退

100kg超級 深井大雅(愛知大) 1回戦敗退

●女子

52kg級 渋谷 舞(環太平洋大) 3位

百田久佳(淑徳大) 2回戦敗退

萩尾陽奈(桐蔭横浜大) 1回戦敗退

中村愛香莉(国土館大) 2回戦敗退

57kg級 袴田佳名瑚(桐蔭横浜大) 欠場

63kg級 杵渕 萌(東海大) 5位

70kg級 山本 杏(帝京科学大) 2位

78kg級 橋本夏海(静岡産業大) 1回戦敗退

梼明日香(中京大) 1回戦敗退

78kg超級 米川明穂(筑波大) 3位

全日本ジュニア柔道体重別選手権大会

令和3年12月18日、19日

講道館

●男子

81kg級 長澤篤希(静岡学園高校) 5位

●女子

52kg級 百田久佳(淑徳大) 2回戦敗退

57kg級 杉山月琉(東海大翔洋高校) 1回戦敗退

70kg級 袴田佳名瑚(桐蔭横浜大) 棄権

78kg超級 山本 杏(帝京科学大) 7位

米川明穂(筑波大) 1位

第51回全日本実業柔道個人選手権大会

令和3年12月18日、19日

滋賀県立武道館

22歳以下

小田春樹(ダイコロ) 1位

100kg級 小林悠輔(渡邊電設)

100kg 超級

川井康平 (日本通運)

2回戦敗退

52kg 級

神山結理 (ヤックス)

1回戦敗退

73kg 級

松本行弘 (イカイ)

1回戦敗退

令和3年度 全日本柔道選手権大会

令和3年12月26日

講道館

小林悠輔 (渡邊電設) ベスト16

佐藤和哉 (日本製鐵) ベスト16

令和3年度 静岡県高等学校 校新人体育大会柔道競技

令和4年1月15日

静岡県武道館

●個人戦

男子60kg 級

1位 小林 勇斗 (東海大翔洋)

男子66kg 級

1位 山下 稜介 (浜松商業)

男子73kg 級

1位 長澤 拓海 (静岡学園)

男子81kg 級

1位 坂東 新 (加藤学園)

2位 内山 久羽吾 (加藤学園)

男子無差別級

1位 沖山 智 (静岡学園)

女子48kg 級

1位 牧園 羽菜 (藤枝順心)

女子52kg 級

1位 原田 詩依菜 (藤枝順心)

女子57kg 級

1位 夏目 彩夢奈 (藤枝順心)

女子63kg 級

1位 近藤 小晴 (藤枝順心)

女子無差別級

1位 北尾 美樹 (東海大翔洋)

令和4年2月19日 (男子)・20日 (女子)

静岡県武道館

●団体戦

男子団体

1位 加藤学園

女子団体

1位 東海大翔洋

各階級1位(男子81kg級は2位まで)は、令和4年3月20日(日)・21日(月祝)に日本武道館にて行われる全国大会に本県代表として出場。

静岡県の代表という誇り



SHIZUOKA

静岡県柔道協会 シンボルマーク

静岡県を代表して全国大会などに出場する選手だけがつけることができる特別なマークです。ぜひ皆さんも静岡県代表という誇りを胸に、全国大会での活躍を目指してください。

NPO法人武道学舎が令和3年度白石基金を受賞

全国より推薦された多くの団体の中から、日頃の活動と地域貢献が評価され、NPO法人武道学舎が「青少年柔道普及振興基金【白石基金】」を受賞されました。

白石基金とは、故白石禮介氏(藤園中学・九州学院高校の元柔道部監督)のご遺族から公益財団法人全日本柔道連盟に贈与された基金を同人の遺志に基づき、青少年柔道普及振興に有効活用すること目的とするものです。その一環として全国の都道府県柔道連盟(協会)より推薦された団体の中から、運営・選考委員会により、以下の選考基準について審議され、令和3年度は14団体が表彰されました。

〔選考対象・基準〕

- 所属する小学生及び父兄等への柔道MINDの啓蒙・啓発に真摯に取り組んでいる。
- 団体全体として、コンプライアンス理念の実践・徹底を図るなどの具体的な施策に取り組んでいる。
- 柔道を通じて、地元や地域と密接な交流を図るなど、社会貢献や地域活動に積極的に貢献している。
- その他、右記以外の顕著な実績と認められる取組みがあること。



写真提供：NPO法人 武道学舎 Team Data 団体名：NPO法人 武道学舎 代表者：川嶋 敏秀 設立：1973年2月1日

第63回 静岡県柔道祭開催

2年ぶりの開催、静岡県柔道祭！



令和3年12月5日、静岡県立武道館にて第63回静岡県柔道祭が開催された。昨年は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、日常生活に支障があったり、医療が逼迫したりなど苦しい時間を過ごしてきた。またオリンピックが1年延期されたことを受け、各スポーツ界も試合を中止するなどの対応に苦慮してきた。静岡県柔道協会も例にもれず、第62回大会を中止することとした。ゆえに、今年度は2年ぶりの開催ということで、関係者一同大変感慨深い大会となった。開会式後は、令和2年度並びに3年度の協会表彰者及び優秀

団体、同指導者、同選手の表彰がおこなわれた。各表彰者・団体、並びに試合結果・優秀選手賞は以下のとおりである。

《令和2年度表彰者》(敬称略)

①永年功労者章

鈴木健夫(西部)

②奨励章

中村久美(東部)、水口透(東部)、小塚直哉(東部)

《令和3年度表彰者》

①奨励章

齊藤利彰(東部)、小山明弘(東部)、秋山英生(東部)、北田晃三(中部)、鈴木清仁(中部)、通場千里(中部)、佐藤淳(西部)、伊藤貴能(西部)

②優秀団体章

東海大学付属静岡翔洋高等学校 中等部(全中女子団体3位)

③優秀指導者章

渡部直樹(静岡学園高等学校教諭)

古内千夏(東海大学付属静岡翔洋高等学校中等部教諭)

高田博文(静岡学園中学校教諭)

杉山崇(育誠館道場)

④優秀選手章

長澤篤希(静岡学園高等学校)

永田りん子(東海大学付属静岡翔洋高等学校中等部)

川合遼(静岡学園中学校)

長屋進(浜松市立神久呂中学校)

《試合結果》

小学生の部

1位 育誠館

2位 藤枝柔道倶楽部

3位 葦山柔道教室、大仁柔道会

中学生男子の部

1位 静岡学園中学校

2位 東海大学付属静岡翔洋高等学校中等部
3位 育誠館道場、湖西中学校

中学生女子の部

1位 藤枝順心通学校

2位 東海大学付属静岡翔洋高等学校中等部

3位 北浜東部中学校、浜北北部中学校

高校生男子の部

1位 静岡学園高等学校

2位 加藤学園高等学校

3位 浜松西高等学校、東海大学付属静岡翔洋高等学校

高校生女子の部

1位 藤枝順心高等学校

2位 東海大学付属静岡翔洋高等学校

3位 沼津市立沼津高等学校、飛龍高等学校

一般の部

1位 静岡県警察

2位 静岡産業大学

3位 和道場、浜岡黒潮柔道クラブ

《優秀選手》

小学生

浅井嘉忠(育誠館)、井戸上響生(藤枝柔道倶楽部)

中学生男子

川合遼(静岡学園)、米山大夢(東海大学付属静岡翔洋高等学校中等部)

中学生女子

源平珠々(藤枝順心)、北尾季樹(東海大学付属静岡翔洋高等学校中等部)

高校男子

鈴木大空(静岡学園)、坂東新(加藤学園)

高校女子

近藤小晴(藤枝順心)、北尾美樹(東海大学付属静岡翔洋高等学校)

一般

浅賀慎太郎(静岡県警察)、荒川凌馬(静岡産業大学)



高校女子
近藤小晴(藤枝順心)、北尾美樹(東海大学付属静岡翔洋高等学校)



道場紹介

県内各地でがんばっている「道場」を各地区2道場ずつ紹介します。

- ①名称
- ②住所(練習場所)
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

浜松市スポーツ少年団 養武館

- ②浜松市西区篠原町 20200番地の1
- ②〒431-0203 浜松市西区馬郡町4251-1 080-1603-8041
- ③坂田好司
- ④児童1人、小学生9人、中学生8人、社会14人

他共栄」の精神に基づき柔道を通して規律、礼法又相手の立場を考える事が出来る事に重点を置き初心を忘れず「ケガをしない、させない」練習に励み、ずっと柔道に携わっていく子供達を育てて行く道場を目指しています。



⑥道場紹介
養武館は昭和40年刑部小平先生が中心となり、鈴木規古先生、鈴木兵庫先生、後藤満州寿先生により町内の有段者に各自の段×畳1枚の寄付の協力を呼びかけ、青少年の健全育成を目標に創設されました。その後山崎陸雄先生そして坂田好司へと引き継がれてきました。今年創設57年を迎え数百名の有段者が生まれています。その中には、県大会、東海大会・全国大会に出場した選手も育っています。

毎週、火・金曜日の午後7時30分から9時00まで篠原中学校内にある養武館道場で卒団生が指導者に、団員の保護者が有段者指導者となり「精力善用・自

大東柔道クラブ

- ②掛川市浜川新田472
- ③0537-72-3801
- ④岡本 孝
- ⑤児童3人、小学生11人、中学生4人、社会人10人

⑥道場紹介
私たち大東柔道クラブは、昭和53年に設立されました。現在は、掛川市立大浜中学校南体育館に於いて毎週火曜日と金曜日の2回、午後7時から午後9時まで小学生を中心に練習をしています。

コロナ禍でなかなか思うような活動ができていませんが、「自分に負けるな」を合言葉に日々稽古に励んでいます。柔道を通じて怪我をしない身体と簡単にあきらめない心づくりを目指しています。

コロナ感染症や少子化の影響に負けることなく柔道人口の底辺拡大と青少年の健全育成に努力していきたいと思えます。



ヤワラ柔道クラブ

- ②牧之原市新庄800-1番地 御前崎中学校
- ③〒421-0533 牧之原市新庄18-2番地 0548-58-1351
- ④原口 康之
- ⑤小学生1人、中学生1人、社会2人

⑥道場紹介
ヤワラ柔道クラブは、平成14年、広域学校組合中学校区の生徒、児童を対象に昇段と青少年健全育成を目的に、礼儀を大切にして体力向上の為に発足しました。現在子どもたちは、小学生1人中学生1人高校生2人という状況で頑張っています。稽古は毎週水曜日、金曜日の2回



18時30分～20時30分の2時間行っています。準備、基礎的運動、受け身、打ち込み、乱取り稽古で日々少しずつ精進しています。当初の学校組合中学校区の生徒児童がいなくなった為に榛南地区に募集範囲を拡大していますが、子どもたちが集まりません。この地域に柔道を心から好きで黒帯を目指す子どもがいる以上、続けていけたらと思いますのでご指導、ご支援をよろしくお願いを致します。

⑥道場紹介

国士塾

- ②〒426-0067 藤枝市前島2丁目10-1
- ③静岡県武道館 第二道場
- ④澤口忠史 090-9196-2095
- ⑤幼児2人、小学生10人、中学生5人、社会人4人、指導者7人

2002年4月静岡県武道館開設に伴い、同年7月に発足。当初「藤南柔道塾」として活動していましたが現在は「国士塾」に改称しました。

塾の活動目的として、柔道を生涯スポーツと捉え、青少年の健全育成・相互の親睦を図ることを掲げています。当初は県武道館の柔道教室を兼ねての活動でしたが現在は教室の活動は休止しています。火・木・土、週3回の夜間、稽古に励んでいます。稽古のはじめに腰にタオルをつけタオルを奪い合う「尻尾取り」ゲームでウォーミングアップし、稽古者数に応じた楽しくも厳しい稽古等に励んでいます。令和3年12月、初代塾長川中邦夫八段が亡くなる不運に遭遇したため、今後は恩師に報いるよう多くの大会で実績をあげ、質量充実した塾をめざし頑張っています。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

⑥道場紹介

東伊豆柔道会

- ② 賀茂郡 東伊豆町 稲取 3012-2 県立稲取高等学校柔道場
- ③ 賀茂郡 東伊豆町 稲取 2829-4 090-8731-9463
- ④ 山田 康
- ⑤ 幼児2名、小学生5名、中学生5名、高校生1名、社会人15名

昨日、コロナ感染拡大の影響で高校施設の使用許可が下りず長期にわたり稽古を休みにせざるを得ない状況になり、また児童人口の減少もあり、同じ体格の相手と組んで中身の濃い稽古



がなかなかさせられないなど、指導者として歯がゆい面も多々あります。このような状況ではありますが、指導者、生徒と一丸となって日々の稽古に励んでおります。

最後に、当柔道会では礼節を重んじ、子供たちに指導してまいります。試合（勝負）に勝つことも大事ですが、相手を敬い、感謝の気持ちを持つことにより、子供の人格、人間形成の一助になれば、と思っております。



⑥道場紹介

伊東柔道会

- ②〒414-0046 静岡県伊東市大原2-2-6 大原武道場
- ③〒414-0044 静岡県伊東市川奈1225-367 090-8551-9095
- ④鈴木 尚
- ⑤小学生7名、中学生7名、高校生・社会人8名

伊東柔道会は昭和24年8月に伊東柔道倶楽部として創立し、現在は伊東柔道会の名称で活動しています。伊東市の施設である大原武道場にて、月・水・土の週3日（午後7時～午後9時）稽古に励んでいます。小学生を中心に、基本的な体操・受身・打ち込み稽古・乱取稽古といった内容です。2年ほど前からは縄跳びやトレーニング器材を使って子供たちの体力強化にも力を入れています。

年に2回伊東市主催の大会があり、小さい大会ではありますが近隣の柔道団体の方々にも集まって頂き開催しています。少子化とスポーツの多様性で柔道人口全体が少なくなっていますが、「礼儀・挨拶がしっかりとできる人」を1人でも多く育成し、柔道をやって良かったと思えるように日々指導・活動しています。



新人選手紹介コーナー

昨年度は新型コロナのためほとんどの全国大会が中止となり、多くの有望選手の夢が絶たれてしまいましたが、今年度は二年ぶりに開催され静岡県の選手も好成績を納めました。代表選手・監督のインタビューをご覧ください。



古内千夏さん
(東海大静岡翔洋高校・中等部教職員)

全国中学校柔道大会を終えて

私は、東海大付属静岡翔洋高校・中等部に勤務し、9年が経ちます。常にチーム作りとして「全国制覇」を目標に日々生徒たちと向き合い精進しています。本年度は、中学3年生4名と入学当初から、日本一だけを目指し、全国の強豪校を倒し勝つために頑張ってきました。結果としては、全国3位という結果で、選手たちは本当に頑張ってくれたと思います。しかし、試合終了後には、選手たちの目には涙があふれ、悔しさでいっぱいでした。改めて、日本一になることの難しさ、そして遠いと感じる瞬間でした。個人戦では、3位に永田が入賞し、中道・斎藤もベスト16という結果を残してくれました。3年生は、高校へも進学してくれれます。今すでに次の目標を立ててスタートしています。個人戦は勿論のこと、やはりチームの仲間で戦う団体戦での「全国制覇」を達成するため、今後の指導にも力を注ぎ、選手のために、最高のサポートをしていきたいと強く感じた全国大会となりました。また、女子柔道の発展と静岡県のレベルアップのためにも協力をしていきたいと思えます。



永田りん子さん
(東海大静岡翔洋高等学校・中等部)

令和3年度全国中学総体柔道の部女子団体 第三位

全国大会を振り返って

私は、全国大会を経験したたくさんのことを学びました。個人、団体共に全国制覇を目指し日々の練習に取り組んできました。しかし、結果は3位という結果で終わり、とても悔しい思いでした。結果は目標にしていた日本一ではありませんでしたが、それ以上に多くの事を得ることができたと思います。練習では、苦しい事や辛い事がたくさんあり、逃げ出したいこともありました。苦しさを乗り越えられたのは、先輩達の言葉や仲間、一番近くで応援してくれた家族の支えがあったおかげで頑張りが切ることができました。だからこそ、悔しい結果でもありました。高校ではもう一度、個人と団体で全国制覇を成し遂げるために、日々精進し、感謝の気持ちを忘れずに謙虚に頑張っていきたいと思えます。



長屋 進さん
(浜松神久呂中学校)

令和3年度全国中学総体柔道の部 男子55kg 三位

全国大会を振り返って

この全国大会を振り返って、嬉しい気持ちはもちろんありますが、優勝ではなく3位という結果に終わってしまったことにとっても悔しい思いが残っています。でも、3位だったことが逆に、次こそ優勝してやるという気持ちの原動力になっています。



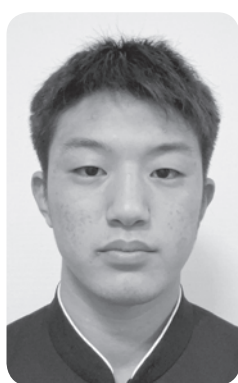
川合 遠さん
(静岡学園高校・中等部)

令和3年度全国中学総体柔道の部 男子81kg 級準優勝

全中を振り返って

今回の大会では一戦一戦集中し、落ちていく試合をすることを意識し

ました。準決勝までは自分のペースで試合をすることができましたが、決勝では自分の甘さが出てしまい、抑え込まれて負けてしまいました。私は81kg級の中では体格が小さく、劣勢に思われました。しかし、特に組み手を強化した練習や体格のよい高校生の先輩達との練習で、自分より大きい相手に勝って、決勝まで進出することができました。優勝を目指していたので、準優勝という結果は悔しかったですが、手応えを感じられた大会になりました。今回の大会において、一戦ごとに課題がみ分かりました。これからは特に寝技などの課題をひとつひとつ改善するよう向上心を持って練習に励んでいきます。そして、来年こそ必ず日本一になれるよう日々努力していきたいと思えます。



長澤 篤希さん
(静岡学園高校)

第43回全国高校柔道選手権大会 男子81kg 級優勝

全国高校柔道選手権大会を振り返って

令和3年3月20日に東京の日本武道館で開催された全国高等学校選手権大会に出場し優勝することができ

ました。中学生の時には全国大会で勝ち切れず3位という悔しい結果で終わってしまいました。その悔しさから、高校で日本一になるという目標を立て日々仲間と努力してきました。しかしながら昨年、新型コロナウイルスの影響で今まで一緒に練習してきた先輩方の大会全てなくなっしまいました、練習してきた成果を発揮することができずに悔しい思いをしたままの引退となってしまいました。その先輩方の気持ちを胸に強い気持ちで大会に臨みました。この大会は高校生になって初めての全国大会ということもあり、初戦は緊張からうまく自分の実力を発揮することができませんでした。二回戦以降は落ち着きを取り戻し、勝ち上がるにつれて緊張もなくなり自分らしい柔道をすることができました。決勝戦前に渡部先生から「楽しんでやって来い」という言葉をかけていただき、緊張することなく自分の実力をすべて出し切ることができました。この結果は自分の力だけではなく、日々共に努力してきた仲間や支えてくれた家族、先生方のおかげで勝ち取ったものだと思います。またこの状況の中、大会開催に向け尽力してくださった関係者の皆様すべてに感謝したいと思います。この大会で経験したこと、満足せず、今後の柔道人生に生かしていきたいと思っています。

ルール改正のポイント

2022年1月24日付で全柔連よりルール改正についての通知がありました。国際柔道連盟(IJF)より、2024年パリ五輪まで適用される新ルールが発表されたということです。従来ルールからの変更は以下の12項目です。

【変更項目】
注) 全柔連により公式に翻訳されたものではありません。(令和4年1月現在作成中)

- ① 技の連続…一度動きが止まってから押し込むような技はポイントにならない。
- ② 技あり認定(1)…側面が接地した時に、90度以上の角度で体が畳に傾けば認定。
- ③ 技あり認定(2)…肩と背中の上部が着けば認定。
- ④ 受け身…手や両肘についての受け身は、技ありに加えて指導に。
- ⑤ めくり技…相手の背後からめくるように返していく技は技認定なし。
- ⑥ 逆背負投げ…通常の背負い投げと逆に落とす投げは技の認定をされず、指導に。いわゆる「韓国背負い」などが対象になると見られる。
- ⑦ 投げ終わりの帯より下をつかむ動き…投げ終わりに限り、相手が寝技状態であれば帯より

り下(下半身)を触っても反則にはならず。

- ⑧ (首回りの)襟と襟(首)を持つ組み手…攻撃中であれば認められる。
- ⑨ 慣例的ではない組み手…後帯、片襟、クロスグリップ、ピストルグリップ、ポケットグリップは攻撃準備段階では認める。
- ⑩ 切り離しの反則…組み手を切った場合は、すぐに自分から組み直さなければ指導。
- ⑪ 柔道着、髪を直す行為…自ら服装を直す、ヘアゴムなどで髪を結い直す行為は1試合1度まで。2回目からは指導。
- ⑫ 頭から突っ込んでの投げ技…頭から畳に突っ込むように投げる技は反則負け。従来では対象でなかった頭の側部でも同様に反則負けとなる。

り下(下半身)を触っても反則にはならず。などには効果的な攻め方であると思います。そもそも昔は技のポイントとしては取らなかつたと思います。

二つ目は「逆背負投げの禁止」です。これは少年大会特別規程のように一発反則負けとはならないまでも「指導」の対象となるようです。国際大会でよく見られるいわゆる「韓国背負い」もその対象となるわけですが、今では国内大会でも、また学生大会でも多く見られ、非常に決定力があり、これを得意技としている選手も多いと思いますので、これを封じられるとなるとまた次の手を考えなければなりませんね。

三つ目はいわゆる「突っ込み」についてです。これまで突っ込みとされるのは背負い投げや内股などを掛ける際、まっすぐ頭部を畳につけながら自ら前転するような形になった場合に、頸椎損傷の危険性があるため掛けた方に反則(即反則負け)が与えられた訳ですが、これをさらに発展させ、頭の側部をつけながら投げを打った場合もその対象になりうるということです。オリンピック金メダリストの大野翔平選手も内股を掛ける際、そういった状態になるシーンをよく見ますが、今後は反則を取られる可能性があるということです。

この他少年大会特別規程への追加事項として「中学生の試合における絞技の禁止」についても発表されました。これまでに「絞技は見込みで判断せず、充分効果が現れた時に一本とす」とされることが多かったですが、今回の改正では「中学生の試合においては、絞技を禁止とする」となりました。絞技は上手に極まると即時に効果が現れるので試合時間が短縮でき、その後の試合に向けて体力を温存することができず、そのため中学生になると誰もががこぞって練習するものでしたが、今後は高校生になるまで封印ということになってしまいました。しかしながら近年中学生の大会において絞技により選手が絞め落ちし痙攣を起こすケースや、蘇生中に頸椎を損傷するケースが報告されているとのこと、選手の安全を優先するとすれば止むを得ない判断かもしれません。その他の改正事項についても、その多くは安全性を重視した改正です。選手も指導者も内容を理解し、日々の稽古から意識する必要がありますね。



柔道家紹介

全日本選手権、全日本選抜体重別選手権をはじめ、国内外で活躍する、我が静岡県にゆかりのある選手をご紹介します。みなさん応援宜しくお願いします。

佐藤 和哉 参段

(100kg超級/日本製鉄)

静岡学園高校出身

1995年4月生まれ(26歳)



静岡学園高校在学時、高校生として全日本選手権出場を果たし、これまで講道館杯、選抜体重別選手権などの国内大会だけでなく、2018年グランプリ・チュニスや2019年のヨーロッパ・オーストラリアなど、国際大会でも好成績を収めています。昨年はお子さんも生まれてアスリートとしてだけでなく、一児の父として今まさに充実の期を迎えています。

小林 悠輔 参段

(90kg級/筑波大柔道部コーチ)

静岡県熱海市在住

1993年8月生まれ(28歳)



埼玉県出身、埼玉栄高校から筑波大を経て旭化成にて活躍、ジュニア時代から国際大会にも数多く出場し好成績を収めています。昨年3月に女子プロゴルファーの渡邊 彩香さんとの結婚を機に、奥様のご出身地である熱海市に移り住み、我が静岡県民となりました。今年度の全日本選手権静岡県予選、東海予選では共に1位で通過し、静岡県代表として全日本選手権出場を果たしました。今後も小林選手の活躍に目が離せません！

- 2018年 グランプリ・チュニス 5位
- 2019年 ヨロップオープン・オーストラリアス 優勝
- 2020年 全日本選手権 3回戦敗退
- 2020年 講道館杯全日本体重別選手権 2位
- 2021年 4月 全日本選抜体重別選手権 優勝

※無差別

- 2017年 全日本選抜体重別選手権 3位
- 2017年 全日本実業個人選手権 優勝
- 2017年 グランプリ・ザグレブ 3位
- 2017年 講道館杯柔道体重別選手権 3位
- 2017年 グランドスラム東京 2位
- 2018年 全日本選抜体重別選手権 3位
- 2018年 アジア大会男女混合団体戦 優勝

訃報

川中邦夫先生の思い出

静岡県柔道協会中部支部幹事長

田中秀幸

私が川中先生の後任として中部支部の幹事長を引き受けしたのは平成二十六年度でした。それ以前、先生は八年間にわたり幹事長の役職を務められました。常に口にしていたのは「幹事長は一人では何も出来ない。皆さんの協力があってこそその幹事長である」と。私も同じ八年間務めさせていただきましたが、確かに周囲の方々の協力により務めることが出来たと思っております。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の影響から昨年度は大会がほとんど行われず、初刊より23年間で初めて休刊となった「柔道しずおか」でしたが、静岡県柔道協会をはじめ中体連、高体連など皆様のご協力によりどうか二年ぶりに刊行することができました、広報部として心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

今年度は全国につながるいくつかの主要の大会は感染防止対策を最大限に施し、細心の注意

先生は話が好きで、所謂川中節で周囲を明るくしていました。いつもそこには笑い声がありました。気さくで面倒見が良く、多くの人々の相談に乗っていたように見えました。

また稽古が好きで、どこの高校へ赴任しても柔道部顧問として、生徒の稽古相手となって汗を流していました。多くの教え子を世に送り出し、彼らは立派な社会人として活躍しています。そして「稽古で汗を流して、夜に一杯やるのが楽しみでね」と。お酒の好きな先生は、役員らとの懇親会で、本当に美味しく飲み、柔道談義に花を咲かせていました。

月次試合、昇段審査会などの

を払いながらも開催されましたが、前年度に続いて開催できなかった大会も数多くあり、また開催された大会も残念ながら全無観客での開催でした。選手のモチベーションはもとより、応援するご家族の皆さんに至ってはさぞもどかしい思いをされたことでしょう。特に少年柔道においてはお子さんの頑張る姿を応援できないご父兄の心中は察するに余りあります。未来の柔道発展のためにも選手を応援するご家族のご協力は不可欠です。日々の稽古の成果を精一杯発揮する選手、その努力を見守

際には、始めに挨拶されましたが、嘉納師範の柔道原理を常に話され、「若い時に人生の基礎を作りなさい」と中高生に話していたのを思い出します。川中先生、有難うございました。

合掌



りながら応援するご家族や友人、またそれを安全に進行させる主催者があつてはじめて大会は成り立つものと確信しております。今後この感染防止対策は大会のスタンダードとして残っていくものと思われませんが、可能な限り観客を入れてみんなで盛り上がる、そんな大会が数多く開催され、本誌にて紹介できるようななることを心より願っております。

広報委員会